



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 267

2019年

3～4月号

行 事 案 内

3月手賀沼探鳥会

期 日 3月10日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 案 内 暖冬の影響で、冬鳥の帰還が早まっているかも知れません。オオジュリンの夏羽移行を探しながら、去る鳥との別れを惜しみましょう。かわりに気の早い夏鳥に期待しましょう、囀りが聞こえるかも知れません。土手の草木に春を感じながら、じっくり探してみましよう。

解 散 正午
 担 当 松田

4月手賀沼探鳥会

期 日 4月14日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 案 内 冬鳥たちとの別れの季節になりました。この時期まで残っていてくれるのはどんな鳥たちでしょうか。渡り鳥の入れ替わりの様子や春を迎えた鳥たちの囀り、ディスプレイなどを楽しみましょう。

解 散 正午
 担 当 松本

3月、4月ビオトープ調査

期 日 3月7日(木) 雨天延期
 4月4日(木) 雨天延期
 集 合 手賀沼ビオトープ 午前9時30分
 案 内 昨年3月は留鳥の他にアオジ、オオジュリン、コガモ、ジョウビタキ、ツグミ、ユリカモメが見られ計26種、4月は留鳥の他にアオジ、コガモ、ジョウビタキ、セグロカモメ、ツグミ、ユリカモメが見られ計19種観察できました。3月は草の芽も出、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、タネツケバナなど咲き、ツクシも出ます。テントウムシ、蛙等も動き出します。4月にはカラスノエンドウ、オランダミミナグサ、タンポポ、アリアケスミレ、キュウリグサ等の花が咲き、その中でベニシジミ(蝶)が吸蜜し、昆虫類も動き出します。池では鯉の産卵も見られます。ビオトープ周辺の春の雰囲気を感じながら、風景、動植物を観察しながら、探鳥をしてみましよう。初めて参加希望の方は下記までご連絡の上、当日は五本松公園の駐車場に9時10分までにお越しください。

解 散 午前11時30分
 担 当 鈴木静治
 Tel : 080-3121-4757

3月、4月手賀沼定点カウント

期 日 3月5日(火) 雨天延期
4月2日(火) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

銚子・波崎 カモメ 探鳥会

期 日 3月17日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
案 内 銚子・波崎漁港を巡るカモメ探鳥会です。この両漁港は日本有数のカモメ観察のメッカで、3月になると渡りのカモメが終結し膨大な数になります。カモメの基本8種をはじめカナダカモメなど珍しい種も毎年観察されています。カモメは種類だけでなく年齢によって羽色が変わり識別が難しいですが、だからこそその楽しみもあります。カモメウォッチングで識別にもチャレンジしてみましょう。
カモメ以外でもクロガモ、シノリガモ、ウミアイサ、ヒメウ、アカエリカイツブリ、クロサギなども期待でき、太平洋の荒波ならではの珍鳥が出現するかも知れませんね。
交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡してください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)
申 込 桑森亮まで
Tel/Fax : 04-7182-3149
担 当 松本、桑森

葛西臨海公園探鳥会

期 日 4月20日(土) 雨天中止
集 合 我孫子駅改札口 午前7時50分
又は、葛西臨海公園駅、駅前広場 9時
案 内 シギチ春の渡り探鳥の定番となった恒例の葛西臨海公園を今年も訪れます。天候に恵まれれば、干潟に集う多くの鳥たちを観察できるでしょう。春の葛西臨海公園探鳥会では毎年50種近くの鳥たちに出会えます。2015年(49種)、2016年(48種)、2017年(41種プラス番外1種)今年も、すでにクロツラヘラサギが飛来しており、しばらくは滞在してくれそうです。

毎年この時期は、ホウロクシギ、ダイシャクシギなどの大型シギも私たちを楽しませてくれます。今年は何種のシギチに出会えるでしょうか？ 沖合のスズガモの大群も旅立ち前かも知れません。江戸川水路ではカンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、ミミカイツブリを間近に見ることができるよう。

鳥類園では、ホシハジロ、キンクロハジロ、ハシビロガモなどのカモ類が残っているかもしれません。

交 通 我孫子 8:07 (千代田線) → 8:20 新松戸 8:26 (武蔵野線、東京行き) → 9:00 葛西臨海公園
持 物 観察用具、雨具、昼食(葛西臨海公園駅の売店で購入可)
申 込 千葉洋まで
Tel : 090-2434-4937
担 当 相良、千葉

筑波山探鳥会

期 日 4月30日(火・休日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時
案 内 古来「西の富士、東の筑波」と並び称されてきた日本百名山の筑波

山で2年振りとなる探鳥会です。キビタキ、オオルリ、コルリ、センダイムシクイ、ソウシチョウ、ツツドリなどを求めて裏側の山道を登ります。関東平野を一望できる自然豊かな筑波山で探鳥と山の眺望を楽しみ、平成最後の日の思い出づくりをしませんか？

交通 自家用車分乗、便乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。申込の際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持物 観察用具、雨具、昼食（途中購入可能）

申込 関口英治まで
Tel/Fax : 04-7187-3812

担当 松本、関口

松之山探鳥会

期日 5月26日(日)～27日(月) 雨天決行
集合 我孫子駅北口 ふれあい広場
午前8時

案内 3年ぶりに訪れる松之山の主役は、見られる地域が限定的なブッポウソウ、チゴモズ、ノジコで、ここではほぼ確実に観察出来る稀有な場所です。その他サンショウクイ、クロツグミ、サシバ、キビタキ、オオアカゲラはもとよりアカショウビン、サンコウチョウも棲息する真に野鳥の宝庫です。今回はクマタカなども可能性がある大蔵寺高原へも足を伸ばそうかと検討して居ります。また宿泊は、ゆっくりくつろげる温泉宿を用意致しました。この機会に、豊かな自然と珍しい鳥達との出会いを体感してみませんか！

持物 観察用具、1日目の昼食、飲料、雨具

(2日目の昼食は弁当を手配の予定)

交通 マイクロバス（アビコ西武観光）

宿泊 越後松之山温泉「野本旅館」

Tel : 025-596-2013

定員 20名 先着順

費用 1人27,000円程度（参加人数により変更の可能性有り）

申込 金子雅幸まで（注：4月1日より参加申し込みを受け付けます。）

Tel : 04-7133-6944

担当 松田、金子

3月役員会案内

日時 3月10日(日) 13:15～16:00
(開始時刻に注意！)

場所 水の館3F 研修室

議題 ①平成31年度定期総会

・平成31年度定期総会次第

・平成30年度事業報告・決算報告(案)

・平成31年度事業計画・予算(案)

②会報268号掲載予定記事

③バードウィーク手賀沼探鳥会

④報告事項

・対外対応状況 他

⑤その他（議題のある場合は桑森までご連絡ください。）

平成31年度定期総会

平成31年度の定期総会を下記の通り開催します。当会の事業計画、予算等を審議・決定する重要な会議ですので、皆さんご都合をつけ、ご出席下さい。

記

日時 4月14日(日) 13:30～15:00

場所 水の館3F 研修室

議題 ①平成30年度事業報告、決算報告(案)

②平成31年度事業計画、予算(案)

③役員改選

④その他

行事報告

12月手賀沼探鳥会

日時 2018.12.09 9:00~11:30
曇り時々晴れ 微風 8~10℃

2018年最後の定例探鳥会はやっと冬らしい寒さを迎え、水鳥も期待できそうな天候になりました。この冬一番の寒さにも拘わらず34名の会員の方々が参加しました。

始めの第二機場では、久しぶりにハヤブサが沼の上空で狩りをする場面に遭遇し、小鳥を両足でつかみ取り、いつもの鉄塔へ飛び去る様子を観察することができました。

ヒドリ橋までの葦原には、ホオジロ、オオジュリン、カワラヒワ、モズなどが姿を見せてくれ、楽しい鳴き声を聞かせてくれました。湖上のカモ、カイツブリ、カモメ、サギ類は昨年よりまだ少ないようです。

道の駅で休憩後、お立ち台に向かい水鳥を観察しました。少ないカモの群れの中にヨシガモ、ミコアイサを発見することができました。またミサゴが大きな魚を採って食べる様子を観ることができました。今回は鳥の生態を観察することができ、とてもよかったと思います。

<認めた鳥>キジ、コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、トビ、オオタカ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計45種

番外 カワラバト

<参加者>西城猛、小池忠彦、嶋崎省、間野吉幸、桑森亮、肥後邦彦、関口英治、鍋倉妙子、北崎正典、相馬唐代子、渡辺政一、小林博之、斎藤恵美子、高波宣子、松田幸保、船

津登、常盤孝義、相良直己、菊地幸雄、菊地昌江、志村浩美、木村稔、鈴木静治、石井俊子、マイケル・ノートン、西嶋昭生、六角昭男、千葉洋、野口紀子、岩本二郎、野倉元雄、徳重玲子、坂元孝行 (担当) 坂元貴子 計34名

12月手賀沼定点カウント

調査日時 2018.12.04 9:00~12:45
晴れ 15~18℃

18年ぶりの年間1万羽超えが目前の最終月のカウント。12月としては暑過ぎる気温が災いしたか、上沼・下沼ともにカモの群れが無くパラバラと散見される程度で、カウント出来た鳥数は前年の半数以下の970羽(水鳥のみ)。残念ながらあと36羽足らずで年間累計1万羽超えの夢が持ち越しとなった。

我孫子高校グラウンドで、ミヤマガラスの群れの中に2羽のコクマルガラスが確認出来た。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	12	32	44
オハクチョウ	0	1	1
オカヨシガモ	34	4	38
ヨシガモ	0	1	1
ヒドリガモ	0	47	47
マガモ	0	40	40
カルガモ	51	32	83
オナカガモ	0	2	2
コガモ	294	16	310
ホシハジロ	0	2	2
ミコアイサ	0	1	1
カイツブリ	19	9	28
カンムリカイツブリ	63	73	136
ミミカイツブリ	1	0	1
ハジロカイツブリ	8	22	30
カワウ	32	34	66
アオサギ	2	5	7
ダイサギ	8	5	13

コサギ	7	6	13
クイナ	0	1	1
ヒクイナ	1	0	1
オオバン	34	27	61
ユリカモメ	32	1	33
セグロカモメ	1	0	1
クロハラアジサシ	10	0	10
合 計	609	361	970

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸、嶋崎省 計4名

1 2月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2018.12.10 9:30~11:30
曇りのち晴れ 無風 8℃

9月末の台風で風の当たった面の木の葉が茶褐色となったため例年のように綺麗な斜面林の紅葉は見られない。それでも所々ハゼ、カエデの黄紅葉が見られた。水田は刈田となりほとんど鳥は見られない。田の端の草地でハシボソガラスが餌探し、ホオジロの地鳴きが聞こえる。ビオトープの池ではカルガモ、コガモが群れ泳ぎ、アオサギ、ダイサギが餌探し。水面上をカワセミが飛ぶ。葦原ではアオジ、ホオジロ、ウグイス(地鳴き)、クイナが鳴き、スズメ、キジバトが飛ぶ。岸、葦原、森の大木にホオジロ、モズ、ムクドリ、ヒヨドリに冬鳥として渡来したツグミの群れ、アカハラが加わり飛び回る。沼岸の葦原、桜の木、森の大木にホオジロが動き、オオバン、カルガモが岸近くを泳ぎ、上空をコサギ、ユリカモメが飛ぶ。観察した野鳥23種172羽、他に木の花2種、実8種、野草の花6種、花穂・実6種を観察しました。

<認めた鳥>カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、オオバン、ユリカモメ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、スズメ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計23種。

<調査者>鈴木静治、船津登、蒲田知子、千葉洋、相馬唐代子 計5名

1月手賀沼探鳥会

日 時 2019.1.13 9:00~12:00
曇り後晴れ 弱風 8℃

今年初めての定例探鳥会です。天気は、曇りでしたが徐々に晴れ、風もほとんどなく穏やかな日になりました。第2機場からヒドリ橋までの間では、オオジュリン、カシラダカなどが見られましたが、沼に水鳥の姿は少なかった。ヒドリ橋では、頭の上を飛ぶミサゴ、枯草の上でクイナが見られました。今回は、通常コースにオオハクチョウを期待し、ハス田の探鳥を追加しました。ハス田の中では、マガモ、ホシハジロなどが見られ、対岸の我孫子側ではオオハクチョウが確認されました。また、ハス田の木道近くで珍しいツルシギが見られました。下沼のお立台からは、杭に止るミサゴ、ミコアイサが認められましたが、カモ類は少なかった。認めた鳥は、46種+番外1種と参加者数を大きく上回る幸先の良い年の始まりの探鳥会となりました。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オオハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、タシギ、ツルシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計46種 番外 カワラバト

<参加者>村瀬和則、野口隆也、北崎正典、嶋崎省、小林建吏朗、小池忠彦、肥後邦彦、木村稔、常盤孝義、鈴木静治、間野吉幸、関口英治、斉藤恵美子、金子幸子、野尻清敬、野尻恭子、坂元貴子、坂元孝行、小林博之、小林美智子、野倉元雄、西城猛、類地佑子、相良直己、久松典子、石渡成紀、

岩田孝之、千葉洋、菊地幸雄、菊地昌江、西嶋昭生、野口紀子、マイケル・ノートン、百瀬喬、岩本二郎、渡辺政一（担当）船津登 計 37 名

合 計	604	412	1,016
-----	-----	-----	-------

<調査者>桑森亮、船津登、金子雅幸、嶋崎省 計 4 名

1 月手賀沼定点カウント

調査日時 2019.1.8 9:00~12:40
 晴れ 2~9℃

2019 年は快晴無風と好条件の中スタートしたが、2~3 年前と同程度の数で昨年が異常値であった事を証明した感じ。(2018 年 4048 羽、2017 年 1301 羽、2016 年 1078 羽)

数日前には沢山いたよ…との話もあり、日による変動がかなり有るのかも知れない。

今年もツルシギが観察されたが 1 羽だけで寂しそう。又、いつものコガモのポイントにオオタカが居座っていた為、カウント数が少なかったかも知れない。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	25	46	71
オカヨシガモ	29	0	29
ヒドリガモ	0	35	35
マガモ	0	123	123
カルガモ	91	24	115
オナガガモ	0	8	8
コガモ	276	30	306
ホンハジロ	6	23	29
ミコアイサ	0	8	8
カイツブリ	32	9	41
カンムリカイツブリ	20	17	37
ハジロカイツブリ	2	0	2
カワウ	13	21	34
アオサギ	14	1	15
ダイサギ	3	3	6
コサギ	2	0	2
クイナ	2	0	2
バン	1	2	3
オオバン	71	54	125
タンギ	0	1	1
ツルシギ	0	1	1
ユリカモメ	15	6	21
セグロカモメ	2	0	2

1 月手賀沼ビオトープ調査

調査日時 2019.1.10 9:30~11:10
 曇り時々晴れ 無風 1~4℃

ビオトープへ行く途中、白き富士山が見える。斜面林の落葉樹は茶色、常緑樹は濃緑、竹藪は黄緑。今シーズン一番の寒さでビオトープの池は薄氷ながらほぼ全面結氷のためカモ類は見られず、氷上にアオサギが立ち、クイナが歩く。乾田にはアオサギが休み、田の端の水路よりタンギが飛び出し、草むらにホオジロが見られた。周辺の葦原にはアオジ、ホオジロが動き、ウグイスが地鳴きし、木にはアカハラ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、モズ、シメ、ダイサギが止まる。カルガモ、キジバト、カワウが飛び、上空をトビ、ユリカモメが飛ぶ。結氷していない沼岸近くの水辺にコガモ、カルガモ、カイツブリ、オオバンが、葦原にはアオジ、オオジュリン、シジュウカラ、ツグミの鳴き声、その上をカワウ、タンギが飛び、上空をハシボソガラス、ユリカモメが飛ぶ。観察した野鳥は 25 種 109 羽。他に木の花 2 種、実 9 種、野草の花 1 種、花穂・実 6 種、小動物 1 種を観察しました。

<認めた鳥>カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、クイナ、オオバン、タンギ、ユリカモメ、トビ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、シロハラ、アカハラ、ツグミ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 25 種

<調査者>鈴木静治、間野吉幸、船津登、池田日出男、蒲田知子、古出洋子、嶋崎省、小林建吏朗 計 8 名

菅生沼・利根運河探鳥会

12 月 23 日

~菅生沼・利根運河探鳥会に参加して~
 新堀正則

去る 12/23 に本会による今年最後の探鳥会に参加しました。例年のこの時期は晴天である事が多いらしいのですが、朝から所々晴れ間が見えるものの大半は厚い雲で覆われていました。午後から雨の予報が出ていましたので、何とか持ってもらいたいと思っていました。集合場所に到着してみると、既にほとんどの参加者が集まっていました。

車 9 台、参加者は 34 名という大所帯です。幹事さんが、大勢での探鳥会による注意点を説明していましたが、探鳥地での物音での注意に始まり、駐車場のスペースやトイレ休憩など、改めて幹事さんって大変だなと思いました。

さて、私たちはタイムスケジュール通り最初の目的地である天神山公園に到着しました。

ここは地元の人が大切にコハクチョウを見守っているの、極力脅かさないよう注意されました。コハクチョウと共に少数のオオハクチョウも見られました。オオハクチョウとコハクチョウは嘴の黄斑の形で判別する以外特に体の大きさに名前ほどの差異は感じられませんが、並んでいると確かに大きさが少し違いました。両種が並んで観察できる天神山公園はいいところだと感じました。肅々とコハクチョウを観察していると亜種のアメリコハクチョウが 2 羽混じっているとか。聞きなれない亜種名にフィールドガイドを開いてみると、嘴全体が黒く鼻先に小さな点のような黄斑があるイラストを見つけました。なるほど、確かに黄斑が他の個体より小さなコハクチョウが 2 羽連れ立っていました。初めて見たなあと嬉しくなっていると「あれはコハクチョウの個体差で亜種とは言えない」という意見も聞こえてきました。個体差？と思い再度フィールドガイドを見てみると「コハクチョウには個体差がある」とあります。幹事さんも後日写真を元に鳥博で判断してもらおうと言っていました。改めて識別の難しさを痛感しました。

次の菅生沼に着くとここにもコハクチョウの群れが。ここでは自然状態のコハクチョウが観察できました。

でも先ほど間近で観察できたせいでしょうか、もっぱら、他の鳥種を探してしまいます。タシギが 5~6 羽、遠い中洲の低灌木で寄り

添っているのを、誰かが見つけました。イカルチドリもいました。タシギは動かないと枯れた地草と見分けが難しいです。よく見つけられたなあと感心しました。

最後のコースでは、運河駅付近から利根運河に沿って江戸川付近まで長距離を往復する健脚コースです。予定時間はおよそ 3 時間。私は歩くのは得意なので、3 時間近く歩くのはあまり心配していませんでしたが、かなりどんよりしてきたので、雨だけが心配でした。途中途中オナガやモズ、シメなどを観察しつつ江戸川を目指しましたが、時間が押してしまい昼食ポイントのかなり手前で昼食となり、さらに小雨が降って来たので最終ポイントを諦め帰途に着くことになりました。タゲリやケリのお話を聞いていたので、個人的にはがっかりしましたが、大勢で行っては逃げてしまうのは必至なので、後日個人的に行ってみようと思いました。帰途の途中キジが木の枝に止まっていた。キジが木の上にいるのは初めて見ました。こんなに大型で目立つ野鳥が、人目の多い場所に居るのは不思議です。キジって結構度胸のある鳥なんだな。どうりで桃太郎の家来になるはずだと妙に納得してしまうのでした。

アメリカコハクチョウの判定は後日の楽しみとして、今回の探鳥会も、とても楽しむ事が出来ました。幹事さんはじめ、皆さまのお陰です。ありがとうございました。

【幹事報告】

今回は申込者が多く参加者は総勢 34 名。我孫子を 7 時に出発し、新大利根橋を渡って茨城県に入り、守谷市と常総市を北上し、最初の目的地菅生沼・上沼（坂東市）の「天神山公園」に到着。所要時間 40 分。

ここは葦や木々に囲まれた小さな湖沼。到着するとコハクチョウの大群が目に入り、今回の目的がこの大群を見ることにもあったので、一瞬安堵しました。毎朝 7 時に給餌している地元の保護団体の方が、今日の個体数は 140 羽、ほとんどがコハクチョウだがオオハクチョウ 10 羽、その他アメリカコハクチョウも 2~3 羽含まれていると説明してくれた。湖沼に近づいてみると、確かにコハクチョウの中にオオハクチョウ、嘴の大部分が黒いアメリカコハクチョウらしき白鳥も確認できた。その他マガモ、オナガガモ、ホ

シハジロ等も観察でき、みな満足気でした。

この後下沼(常総市)の「菅生沼ふれあい広場」に移動。下沼は自然豊かな細長い湖沼、これに沿って鉄板の歩道が敷かれている。ここを歩きながら探鳥すると、ここでも20～30羽のコハクチョウの群れと、この中に1羽アメリカコハクチョウらしき白鳥も観察できた。また、向こう岸近くの沼地にはタシギやイカルチドリが餌をついばんでおり、道端の木々にはエナガやカワラヒワ等も観察できた。

次に最後の目的地、流山市を流れる「利根運河」に向かう。芽吹大橋を渡り、国道16号を経て駐車場のある「森の図書館」に到着、ここから徒歩で運河に向かった。

「利根運河」は利根川と江戸川を結ぶ全長8.5kmの運河。堤防沿いを歩きながら運河を見下ろせるので野鳥を見つけやすい。最初にオナガの群れに遭遇し、みな感動した。この後も次々に野鳥が現れる。バン、オオバン、ヒドリガモ、ジョウビタキ、カワセミ、コサギ等々。中でもカワセミは長時間雄姿を見せてくれた。歩き始めて1時間半、昼食を済ませ駐車場に戻る。ここで鳥合わせをして解散した。13時。

<認めた鳥>キジ、コハクチョウ、オオハクチョウ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、バン、オオバン、イカルチドリ、タシギ、ツミ、ノスリ、チュウヒ、カワセミ、コゲラ、オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、アトリ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、アオジ 計45種
亜種 アメリカコハクチョウ 番外 カワラバト

<参加者>鈴木裕爾、鈴木幸子、古賀嗣朗、古賀道子、関口英治、大久保陸夫、村井みと、間野吉幸、嶋崎省、相良直己、相馬唐代子、金子幸子、坂元孝行、坂元貴子、松田幸保、高波宣子、渡辺政一、鍋倉妙子、石井俊子、野倉元雄、船津登、マイケル・ノートン、青木典子、新堀正則、野尻清敬、野尻恭子、吉田隆行、井上正、中根忠、阿保進、西城猛

(幹事) 落合聡、野口隆也、石渡成紀 計34名

江戸崎・和田岬・甘田 探鳥会

1月6日

～江戸崎・和田岬・甘田探鳥会感想文～

岩本二郎

2019年の幕開けとなった1月6日(日)の探鳥会では、霞ヶ浦の南にある茨城県稲敷市の干拓地を回りました。合計8台の車に分乗して回りましたが、水鳥や猛禽類が次々に現われ、車窓から目が離せない一日となりました。前日より最高気温が8℃も下がったといいますが、明るい陽射しに恵まれ、参加者は寒さも時間も忘れて窓を開け、鳥を探し続けました(ちなみに、この日の初記録は、集合場所の駅北口に現われたイソヒヨドリでした)。

私にとってよかったのは、今回登場した鳥たちが我孫子でもまた見られる可能性があることでした。我孫子市でも戦後、手賀沼が干拓され(昭和21年に着工、昭和43に完成)、約500haもの広大な農地に変わりましたが、稲敷市も同様である為、鳥の種類にどのような共通性や違いがあるのか、興味深いところでした。

今回訪れた稲敷大橋の西側に位置する浮島地区は、その名のとおり、かつては霞ヶ浦に浮かぶ大きな島でした。しかし戦後になると、対岸との間にある湖が埋め立てられ、最初に甘田入地区が昭和23年に竣工しました。その後、野田奈川地区が昭和27年に竣工し、最後の西の洲干拓地が昭和41年に竣工すると、合計約470haもの広大な農地となり、完全に陸続きになりました。さらに浮島の西側でも干拓が行われ、昭和33年に完成した江戸崎(稲波)干拓地は面積が約230haあります(茨城県農業農村整備事業広報会議事務局HPに、「ブラタモリ」的な話が出ていて面白かったので、興味のある方は是非、御覧下さい)。

この日、最初に向かったのは江戸崎干拓地でしたが、ここは現在では関東地方で唯一といわれるオオヒシクイ飛来地でした。地元の

方の話では、ここのオオヒシクイは水面ではなく、冬田の中で夜を明かすといひます。私たちが到着した当初は採餌に出かけていて、あまりいませんでしたが、その後戻ってきて、合計 77 羽まで数えることができました。

その後、西の洲干拓地の先にある和田公園では、松林にビンズイが飛来していた他、アカハラとシロハラが両方同時に見られました(鳴き声の録音にも挑戦してみたのですが、残念ながら、紅白歌合戦とはいきませんでした)。また、稲敷大橋付近の湿原には 50ha という広大なヨシ原が広がっていますが(妙義の鼻)、チュウヒ、ノスリ、ミサゴがよく見られました。さらに、本新地区には蓮根畑が広がり、オオハシシギをはじめとするシギ類を楽しむことができ、最後に訪れた甘田地区ではノスリやチュウヒを楽しめました。

お目当てのコミミズクは、残念ながら出ませんでしたでしたが、ここは我孫子からも近いので、自分でも行くことができます。是非、また行ってみたいと思いました。稲敷市の干拓地には、我孫子に比べてより多様な環境があり、鳥が見やすく感じました。しかし、ここで見られた種は、我孫子市の干拓地や手賀沼周辺にも飛来する可能性があります。実際にヒシクイが手賀沼に来たこともありましたが、今後も注意して鳥を見ていきたいものです。

最後に、素晴らしい探鳥会を企画して下さいました幹事様、大変有難うございました。そして、お疲れ様でした。いろいろな鳥が出てくれたことも、もちろんうれしかったのですが、何より、鳥談義に花を咲かせながら、みんなで和気藹々と鳥を探せたことが、一番楽しい思い出でした。

【幹事報告】

2019 年の新春探鳥会は、我孫子駅北口集合場所近くの三角屋根に現れたイソヒヨドリに見送られて午前 8 時過ぎに我孫子駅を出発。途中稲敷市役所でトイレ休憩を取り、最初の探鳥ポイント江戸崎の稲波干拓地の観察小屋に到着すると、小野川で沢山のオナガガモが出迎えてくれました。今回の探鳥会の狙いの一つであるオオヒシクイは、130 羽ほどが遠くの田んぼの草叢に隠れるように群れていました。オオヒシクイがこちらに近づいてくれることを期待して、部分日食で欠けていく太陽を観察したり、タゲリやチョ

ウゲンボウなどを探鳥したりして待っていると、頭上を小型の猛禽が飛び去り「すわ、コチョウゲンボウか」と色めき立ちましたが、一瞬のことで残念ながら同定はできませんでした。そうこうしているうちにオオヒシクイが、いくつかの群れに分かれて飛び立ち何回か旋回を繰り返したあと、開けた見やすい場所に降り立ってくれました。

その後、西の洲から湖畔の堤防沿いを走り和田岬へ。下見の時は鳥が少なくあまり期待していなかった和田公園ではたくさんの小鳥が現れ、特にシロハラやアカハラが明るく開けたところに出てくれて、きれいな姿が堪能できました。公園で昼食をとった後、霞ヶ浦南岸の堤防をカモや猛禽などを探鳥しながらたどり、本新地区に入ると田んぼにいるタゲリが間近に見られ、またレンコン畑では多くのシギ類に出会うことができました。その後、妙岐の鼻駐車場でトイレ休憩を取ったあと、コミミズク、ハイイロチュウヒを求めて甘田干拓地に向かいました。甘田ではノスリやオオタカを見ることができましたが、残念ながら期待したコミミズク、ハイイロチュウヒには出会えませんでした。帰途、「直売所しもふさ」で鳥合わせを行い、16 時 10 分に解散となりました。

年末の予報では雨の心配もありましたが、午前中は日差しに恵まれ、強風に悩まされることもなく、沢山の鳥達に出会えた探鳥会となりました。

<認めた鳥>キジ、オオヒシクイ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、タゲリ、ムナグロ、タシギ、オオハシシギ、タカブシギ、イソシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計 59 種 番外 カワラバト

<参加者> 桑森亮、小林美智子、渡邊俊文、鈴木裕爾、鈴木幸子、古賀嗣朗、津村勝吉、船津登、間野吉幸、久松典子、野倉元雄、野尻清敬、野尻恭子、新堀正則、相良直己、大久保陸夫、井上正、マイケル・ノートン、嶋崎省、吉田隆行、鍋倉妙子、金子雅幸、松本勝英、岩本二郎、中根忠、高波宣子、西城猛（幹事）松田幸保、関口英治 計 29 名

印 旛 沼 ・ 別 所 探 鳥 会

1 月 20 日

～ヨシガモ、オシドリなどを楽しむ～

阿部真弓

以前から行きたいと思っていた印旛沼はとても広くて遠くにいるトモエガモの顔までは確認できませんでしたが、ミコアイサをはじめとする沢山の水鳥を観察することが出来ました。光線の加減で頭のナポレオンハットの緑が美しくひかり輝くヨシガモはいくら見ても飽きないほどでした。別所谷津公園の調整池では木に登って休んでいるオシドリを見てびっくり。本には特徴として紹介されていましたが、実際に見たのは初めてでした。水鳥のほかベニマシコやビンズイなど 59 種という沢山の鳥に出会うことが出来ました。帰りは運転してくださった野尻さんご夫婦が同じ柏在住で、最寄り駅近くまで送って頂き、とても楽しい 1 日でした。皆様ありがとうございました。

～59 種の野鳥を観察でき感激～

小林美智子

探鳥会には何度か行っていますが、今回の印旛沼、別所探鳥会は初めての参加です。風もなく快適な一日でした。最初のハクチョウ飛来地では、オオハクチョウ、コハクチョウ、珍しいアメリカコハクチョウ、タヒバリ、オナガガモなどが見られました。そして印旛沼ではカモが多数見られ反対側の沼ではヨシガモのつがい、ヒシクイ、ペリカン、カモ類が多数見られ、満足しました。甚兵衛公園での昼食では、ビンズイ、モズ、カシラダカ、ツグミが、姿を見せてくれ、食欲を誘ってくれました。

別所谷津公園では、綺麗なオシドリを 4 羽かたまっているのを見て感激し、園内ではコゲラを見ました。今回の探鳥会では、猛禽、タゲリも多数見えました。足の具合が良くない私でしたが、参加して良かったと思います。最後に鳥合わせで 59 種類、スゴイの一言です。有難うございました。

～今年もモモイロペリカンに会えました～

中根文世

我孫子駅北口 午前 8 時出発 風もなく良い天気恵まれながら・・・8 時 45 分頃、白鳥飛来地に到着しました。コハクチョウ、アメリカコハクチョウ、オオハクチョウ、オナガガモ、タヒバリ等、白鳥の数が昨年より少なかったので、良く観察できました。その後、農地を探鳥のため、印旛沼土手の道路に出て土手下道路を左折して「下井」に駐車しました。印旛沼の土手からトモエガモ等のカモ、チュウヒ、ミサゴ等を探鳥してから、土手下道路を逆戻りしてから吉高揚排水機場で、今年もモモイロペリカンに会えました。餌を貰える船が来ると、自ら迎えに行く仕草、姿は何とも言えない、可愛く感動しました。吉高揚排水機場を後に、印旛沼土手からカモ類を探鳥し、その後甚兵衛公園にて昼食。昼食終了後、牧の原地域交流センターに駐車し、別所谷津公園でオシドリ、コゲラ、シジュウカラ、ツグミ、ホオジロ、カシラダカ等を探鳥。最後に牧の原地域交流センターに戻り、鳥合わせを行いました。当日はお天気にも恵まれ、楽しい印旛沼・別所探鳥会に参加させて頂き本当に有難うございました。

【幹事報告】

午前 8 時に我孫子駅北口に集合、5 台の車で、本埜のハクチョウ飛来地に 8:45 着。コハクチョウが殆どで当日 606 羽飛来中とのこと。その中のオオハクチョウ、アメリカコハクチョウを探す。ハクチョウに混じるオナガガモ、周りの乾田でタヒバリ、ヒバリなどを観察する。9:20 頃印旛沼に向け出発。途中の農道でノスリ、チョウゲンボウ等を探鳥し、印旛沼土手下道路を通り、下井に着く。ここでは沼に浮かぶカモの大群が見られたが、逆光で種別の判定が出来ない。下見の時には午後の順光でトモエガモの大群が見られたが、今日は逆光で識別できなかったのは

残念であった。杭に止まるミサゴ、チュウヒの飛翔が見える。一方、沼と反対側の乾田、田の端の茂みでは、オオヒシクイ、タゲリの群れ、ベニマシコ、カシラダカ等が観察出来た。下井から吉高揚排水機場に向かい10:30頃着。印旛沼の土手からヨシガモ、マガモ、バン、クイナ等を観察する。モモイロペリカン(24歳以上、1994年より印旛沼在住、図鑑に掲載、TVで紹介されたこともある)、カンタ君が見える。漁師さんの船が見えると飛び立ち船の近くに着水し泳ぐ。餌の魚を貰っているの、栄養状態も良いのだろう。野生での寿命は15~30年と言われている。11:20頃、管理道路を通り、土手上で探鳥する。ホシハジロの大群、ミコアイサ等水鳥を観察する。11:40頃出発、甚兵衛公園近くの直売場に駐車し、土手よりマガモの群れ等の水鳥を観察する。甚兵衛公園で昼食。昼食中にビンズイ、モズ、ツグミ等が芝生、木の枝に見える。12:40頃別所へ向け出発、13:20頃牧の原地域交流センターに駐車し、別所谷津公園のオシドリを探す。オシドリは池の斜面にいたり、池に覆いかかる木の枝の下にいたり、池の中の枯枝の上にいたりする。他の水鳥、更に池周辺の林にいるアオジ、メジロ、コゲラ、カシラダカ、ホオジロ等を観察し、15:30頃交流センターのロビーで鳥合わせをし、現地解散、15:50頃帰途につく。風もなく、この季節にしては寒くなく、手賀沼ではほとんど見られない種類の水鳥も観察出来た探鳥会でした。

<認めた鳥>ヒシクイ(亜種オオヒシクイ)、コハクチョウ(亜種コハクチョウ、亜種アメリカコハクチョウ)、オオハクチョウ、オシドリ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、モモイロペリカン、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、チュウヒ、ノスリ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビ

ンズイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計58種(亜種を含め59種)

<参加者>野尻清敬、野尻恭子、阿部真弓、中根文世、松本勝英、小林博之、小林美智子、嶋崎省、千葉洋、古賀嗣朗、吉田隆行、関口英治、間野吉幸、坂元貴子、マイケル・ノートン、小林建吏朗(担当幹事)桑森亮、鈴木静治、西城猛 計19名

芋 煮 会

毎年恒例の芋煮会を12月16日(日)に開催し、58名の皆さんが参加しました。

昨年は11月に計画したところ、雨で中止になってしまいましたが、今年は12月に戻して開催し、11時に間野会長の挨拶・乾杯で開会、午後は曇り空になりましたが、閉会の14時まで何とか雨に降られずに終わりました。風がなく、楽しく心地よい一日でした。

この芋煮会は、我孫子野鳥を守る会の一年の締め括りの行事で、五本松公園ふれあいキャンプ場を会場として開催しており、今回で34回を数えます。キャンプファイアサークルの大焚火を囲んで、芋煮や鉄板焼き、焼き鳥、焼き芋など、差し入れでは各種のお酒類に現地で焼いた熱々のタコ焼きも人気で、野趣味あふれるアウトドア料理とお酒を楽しみながら、皆で今年の鳥との出会いを語らうなど、大いに盛り上がりました。

一部の参加者は、東我孫子駅から会場まで、岡発戸・都部谷津を探鳥しながら歩き、カシラダカ、オオタカ、ハイタカなどを観察しました。さすがは鳥好きの面々です。

この行事は、全役員が奉行制をしいて、焚火の準備や片付け、各種料理の準備、運営を奉行として担当し、有志会員が与力として手伝います。最後には残った食材や持込みのドリンク類をオークションで売り捌きます。こうした運営も楽しみの一つで、笑い声の中で歓談の輪が広がり、記念の集合写真を撮って、来年の探鳥成果を願いつつ散会となりました。(事務局 桑森亮)

1月役員会報告

日時 平成31年1月13日(日)
13:15~17:00

場所 水の館3F 研修室

出席数 19名

議事

1. 第3四半期会計報告

会計担当が資料に基づき報告し、了承されました。

2. 平成30年度の反省と31年度に向けて資料に基づき検討し、一部を変更・追記することで大綱が承認されました。探鳥会やイベント等は30年度の活動をほぼ継続しますが、新たな活動としては次の項目を柱に次年度事業計画案を作成することになります。

- ① 「創立50周年記念事業検討委員会」の設置
- ② 環境保全活動に関する検討
- ③ 啓発活動、情報発信・広報活動の充実・強化
- ④ 我孫子市内の大学や高校への働きかけ、交流の検討

3. ほ一ほ一どり267号掲載予定記事 会報267号掲載記事について検討し、執筆担当等を決定しました。

4. 柏市民活動フェスタ2019への参加 5/12(日)に開催される柏市民活動フェスタ2019への参加について検討し、パネル出展することを決定しました。

5. 報告事項

次の事項が報告されました。

- ① 芋煮会
- ② 対外活動報告
- ③ 事務局報告事項

6. その他

- ・定期総会後のイベントを検討した。
- ・映写会、懇親会の日程を会場準備の都合により7/21(日)から7/13(土)に変更しました。

【対外協働活動】

手賀沼船上冬鳥観察会

当会と我孫子市環境レンジャーとの共催

で「手賀沼船上冬鳥観察会」が1月27日に開催されました。

この冬一番の寒気が関東地方まで南下し、快晴ながら、やや風のある肌寒い日になりました。インフルエンザの猛威によると思われる数名の欠員がありましたが、それを上回るキャンセル待ちの方々に定員一杯になり、出航しました。

上沼では、間もなくオカヨシガモの小群が現れ、船内の雰囲気は一気に盛り上がりました。風上に向かうと波しぶきが船首窓を洗うほど北西の風が少し強く、お陰で(?)ミサゴ、ハヤブサは見る事が出来ず、ユリカモメの群れを後ろに早々と下沼に向かうとなると植生帯の杭にオオタカが勇姿を見せてくれました。

手賀大橋をくぐり下沼に入ると、カップデッキ付近ではオオバンの群れが出迎えてくれました。ハス田では、期待したマガモたちは飛び立たず、物寂しい位でした。船長の気配りで、やや遠目にいるミサゴ寄りに進路をとったり、徐行してカモたちの出現を待ってみたけれどコブハクチョウの小群がわれわれを見送るばかりでした。

沼中央点付近で、やっとカルガモ、コガモ、マガモ、ヒドリガモの群れ飛翔に恵まれましたが、カンムリカイツブリが散見できる程度で、ミコアイサには会えずしまいました。

全体的には、沼面が小波ながら強い日差しでキラキラ反射してカモ類の発見と同定が難しかったことと、風除けのためカモたちの殆どがヨシ原内に隠れてしまい、種類・羽数が少なかった「観察会」でした。

しかし、予想外にもクロハラアジサシが船の周辺を飛翔してみせてくれたのは幸運でしたし、上沼でのオオタカ、下沼でのミサゴには参加者から大きな歓声があがっていました。下船時、少年の「楽しかった！」の一言が何よりものご褒美でした。

乗船者は、一般応募者(幼児を含み)33名、環境レンジャー2名、当会会員4名(桑森、相良、佐和橋、松本)でした。(間野会長は、環境レンジャーとして地上待機参加) <認めた鳥>コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、

コサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、オオタカ、カワセミ、ハシボソガラス、トビ、クロハラアジサシ 計 23 種
(報告 松本勝英)

亀成川を愛する会探鳥会

亀成川を愛する会主催の探鳥会「18 回冬鳥を探そう」が印西市の別所谷津公園・調整池、別所緑地、古新田川流域の里山で、2/3(日)9:30~12:00 に行われ、一般市民 30 名(大人 13 名・子供 17 名)が参加した。当会からは探鳥指導のため間野会長・船津・野口(隆)・相良・坂元(貴)・松本(勝)・桑森・鈴木(静)の 8 名が参加した。主催者側を含めると 44 名の大勢になるので、6 斑に分け間野会長がマイクで野鳥を説明しながら探鳥した。9:40 に牧の原地域交流センター駐車場を出発し、別所谷津公園の池で、今回の目玉のオシドリを探すが見えず、マガモ、ホシハジロ等の水鳥を観察した。次の調整池では遠くに泳ぐオカヨシガモ、オオバン、キンクロハジロ、飛ぶダイサギ等を見、別所緑地を進み、古新田川流域の里山の斜面林の高木に止まるノスリを見つけ、皆で鑑賞する。斜面林の中にシジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス等が、林にカシラダカ、モズ等が見られ、古新田川

ではキンクロハジロが泳ぐ。さらに斜面林の上空を飛ぶオオタカも見られた。11:05 頃折り返す。往路で野鳥のメジロ、カワラヒワしか見られなかった別所緑地の落葉樹にメジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、コゲラ等の混群で現れ、皆、足を止め、双眼鏡で見る綺麗な姿に感激する人も多かった。最後に別所谷津公園で往路とは反対側の展望台より再チャレンジでオシドリを探す。木の枝が池を覆う池の端にみのオシドリの動くのが見え、やがて水面を対岸に向け泳ぐのが見られ、本日の目玉がみられホッとす。11:40 頃交流センターにもどり、鳥合わせで 34 種が確認され、参加者は野鳥ビンゴの結果により、綺麗な野鳥カードを入手し、満足そうであった。今回の探鳥会は比較的暖かく、風もなく探鳥しやすい日であった。参加者は親子で小学低学年以下が多く兄弟での参加が目立った。別所谷津公園は遊園地もあり、遊歩道が整備されているので、印西市の千葉ニュータウンに行かれた折には、探鳥、草木の観察あるいは散歩に寄られることをお勧めします。

(報告 鈴木静治)

鳥 だ よ り

利根川沿いの江蔵地でマガモ 2000 羽、反対側の取手市の小文間ではホシハジロが 300 羽とカモ類が数百羽単位の集団で観察されています。カモ以外でも印西市の発作ではオオバンとユリカモメがそれぞれ 300 羽の大きな集団で飛来しています。手賀沼でもコガモやマガモなどが 100 羽単位で観察され、冬鳥の賑わいは今が盛りとなっています。

イソシギやタシギが顔を見せてくれました。カワラヒワ、タヒバリ、ムクドリがいくつも群れをつくって飛びまわり、イカルチドリやオジロビタキも現れています。クロハラアジサシやハジロカイツブリはこの数年続けて見られるようになって、常連になりつつあるようです。カシラダカが激減しているのではと心配していましたが、岡発戸では 50 羽の群れで観察されています。アオジ、ベニマシコは、いつもの年より少ないように感じられるとの報告がありました。アトリも例年にくらべて数が少ないようです。

探鳥で気が付いた事がありましたら、是非鳥だよりにご報告ください。

11.21【片山新田】ノスリ(1)
電柱に止る

船津登

11.22 千間橋】ホシカモ(1)
川中を潜水しながら泳ぐ

鈴木静治

- 11.22 【布佐平和台】 ヤマガラス(1)
庭の殻付き落花生から実を取り出し食べる
鈴木静治
- 11.23 【岡発戸新田】 材カ(1)
手賀沼遊歩道上空を飛翔 桑森亮
- 11.25 【手賀新田】 ミヤカラス(115)
田んぼで採餌 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.25 【発作】 ベニマシコ(2)
葦原を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.25 【内野】 ホドリ(5)
調整池の樹下 古出洋子
- 11.26 【片山(手賀の丘公園)】 キイタギ(3)
杉の木の中で動く 船津登
- 11.27 【発作】 バン(2)
川岸近くを泳ぐ 鈴木静治
- 11.27 【中峠】 キセキレイ(1)
昼前、いつもの水路でキセキレイに会えた
松本勝英
- 11.27 【中峠】 タシギ
水路の中州に佇むタシギを今期初認しました
松本勝英
- 11.27 【戸張新田】 ハブサ(1)
鉄塔 95 上部に止まっていた。 吉田隆行
- 11.27 【戸張新田地先上沼】 チュビ(1)
葦原の上を飛翔 吉田隆行
- 11.28 【古戸】 イソギ(1)
小川の水辺を歩く 鈴木静治
- 11.28 【江蔵地】 ウグイス(1)
斜面林の茂みで地鳴き 鈴木静治
- 11.28 【泉村新田】 タシギ(1) 新堀正則
- 11.30 【大井新田地先上沼】 クロハラアシサシ(2)
飛翔しながら時折水面に突っ込む
吉田隆行
- 12.01 【染井入新田】 ミカイツブリ(1)
染井入落の東側の入り江で確認しました
百瀬喬
- 12.03 【片山新田(手賀沼)】 アスイ(1)
木に止まる 船津登
- 12.04 【手賀沼】 材ハクチョウ(1) 下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.04 【手賀沼】 ヨシガモ(1) 下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.04 【手賀沼】 クイ(1) 下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.04 【手賀沼辺】 ヒクイ(1) 上沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.04 【手賀沼辺】 チュビ(1) 上沼 1
- 金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.04 【上沼田(我孫子高校野球場グラウンド)】 コマルカラス(2)
水鳥以外の観察種として
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.04 【親水公園カップ噴水前】 ニセグロカモメ(1)
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 12.05 【手賀新田(手賀川)】 ハジロカイツブリ(2)
潜水を繰り返す 船津登
- 12.09 【北新田】 タゲリ(約 20)
群れで飛んでいました。初見です
佐藤さなえ
- 12.10 【岡発戸新田】 オジユリソ(2)
葦原中を動く
鈴木静治・船津登・蒲田知子・千葉洋・相馬唐代子
- 12.10 【岡発戸新田】 トビ(2)
沼中の杭に止まり餌を食べる
鈴木静治・船津登・蒲田知子・千葉洋・相馬唐代子
- 12.13 【下沼田】 ミヤカラス(約 200)
刈田で餌探し 鈴木静治
- 12.13 【大井新田地先上沼】 カシラガカ(1)
葦原の木に止まって鳴いていた
吉田隆行
- 12.15 【北新田】 タシギ(1)
水路 佐藤さなえ・畠中暁美他 9 名
- 12.16 【千間橋】 材カ(1)
畑地を飛翔し餌を物色
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.16 【箕輪新田先手賀沼】 ツルギ(1)
ハス群生地での浅瀬で採餌
飯泉仁・飯泉久美子
- 12.16 【日秀新田】 ミヤカラス(約 300)
群れで飛び電線に止まる 鈴木静治
- 12.16 【日秀新田】 コマルカラス(2)
電線に止まる 鈴木静治
- 12.16 【布施あけぼの山公園】 シロベタ(1)
百瀬喬
- 12.17 【布瀬】 バン(1)
中州より岸に向け泳ぐ 鈴木静治
- 12.17 【片山(手賀の丘公園)】 ショビタシ(1)
小枝に止まる 船津登
- 12.17 【片山新田(手賀沼)】 チュビ(1)
葦原の上を飛ぶ 船津登
- 12.18 【箕輪新田地先(手賀沼)】 シゴ(1)
杭上で休む 桑森亮

- 12.18【小林】ヨガモ (約 40)
池の中を泳ぐ 鈴木静治 強風の中ダイビングして採餌の様子 吉田隆行
- 12.18【発作】チョウゲンボウ(1)
林の木の子に止まる 鈴木静治 12.27【岡発戸谷津】ハイカ(1)
飛翔 桑森亮
- 12.18【別所】ホトリ (約 10)
枝が池に垂れている下で休む 鈴木静治 12.27【岡発戸谷津】アトリ(2)
飛来し樹上に止まる 桑森亮
- 12.18【別所】ウグイス(1)
林の茂みで地鳴き 鈴木静治 12.27【岡発戸谷津】カシラガカ(16)
樹上に止まり動く 桑森亮
- 12.18【弁天下】カシギ(5±)
用水路で休息、採餌、飛翔を繰り返す 吉田隆行 12.27【ヒドリ橋】ヘビシコ(1)
草むらの下を鳴きながら採餌 吉田隆行
- 12.19【正蓮寺】コトリ(2)
湿地内で採餌 飯泉仁 12.28【布佐平和台】イカルトリ(1)
調整池水溜で動き回る 鈴木静治
- 12.19【鷺野谷新田】チョウゲンボウ(1)
柱に止まる 船津登 12.28【布佐】ヨガモ(1)
薄氷の張る池を泳ぐ 鈴木静治
- 12.20【千間橋】オカカ(1)
川原の枯葦に止まる 鈴木静治 12.30【上沼田】コマルカラス(6)
ミヤマガラスに混じって 桑森亮
- 12.20【浅間前】ノリ(1)
農道の電柱に止まる 鈴木静治 12.30【岡発戸新田地先(手賀沼)】シコ
杭上に止まる 桑森亮
- 12.20【岩井新田(手賀沼)】ツルギ(1)
蓮田で採食 船津登 12.31【布佐平和台】ヤマガラ(1)
庭の木に止まる 鈴木静治
- 12.21【大井新田】ハブサ(1)
鉄塔 97 の天辺に止まっていた 吉田隆行 12.31【布佐平和台】イカルトリ(1)
調整池の水辺で立つ 鈴木静治
- 12.21【大井新田地先上沼】ハジロイツブリ(2)
エビを捕っていた 吉田隆行 12.31【片山(手賀の丘公園)】フク(1)
木に止まり休む 船津登
- 12.23【布施】チョウゲンボウ(1) 飛翔 田中功 12.31【片山(手賀の丘公園)】ジョウビタビ(1)
小枝に止まる 船津登
- 12.23【中峠】ツミ(1)
自宅前の枯杉にツミが止まっていた 松本勝英 12.31【片山新田(手賀沼)】ツグミ(1)
地上で採食 船津登
- 12.23【酒井根下田の森】アトリ(3)
鳴きながら移動 飯泉仁 12.31【中峠】キキレイ(1)
草原で採食 松本勝英
- 12.23【大井新田】チュウ(1)1
葦原の上を飛翔 飯泉仁・飯泉久美子 1.01【染井入新田】ミカイツブリ(1)
水面を移動 飯泉仁
- 12.23【大井新田】オジロカモ(1)
雌個体が水面で潜水を繰り返す 飯泉仁・飯泉久美子 1.01【下沼田】トビ(1)
上空を旋回 飯泉仁
- 12.23【大井新田】オジロ(1)
鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子 1.01【下沼田】コチョウゲンボウ(1)
電線に飛来 飯泉仁
- 12.23【布施】オカ(7)
畑を囲む木立の葉陰から 1羽ずつ少し間をおいて現れて、次々に近くの木へ飛び移って移動。 田中功 1.01【箕輪新田先手賀沼】コハクチョウ(5)
ハス群生地内で休んでいた 飯泉仁
- 12.24【片山(手賀の丘公園)】キイタギ(1)
杉の木の中で動く 船津登 1.01【箕輪新田先手賀沼】オジロ(1)
ハス群生地内を鳴きながら移動 飯泉仁
- 12.24【片山(手賀の丘公園)】フク(1)
木に止まり休む 船津登 1.01【箕輪新田先手賀沼】ツルギ(1)
ハス群生地の浅瀬で採餌 飯泉仁
- 12.24【大井新田地先上沼】クロアジサシ(1) 強風の中ダイビングして採餌の様子 吉田隆行 1.01【岡発戸新田地先(手賀沼)】ツグミ(6)
樹上に止まる 桑森亮
- 1.01【岡発戸谷津】カシラガカ(20)
10羽の群れ 2組が動く 桑森亮
- 1.01【千間橋】ハン(1)

- 川中を泳ぐ 鈴木静治
- 1.02 【酒井根下田の森】キキレイ (1)
地面で採餌 飯泉仁
- 1.04 【片山新田(手賀沼)】ヘニマシヨ(1)
枯草に止る 船津登
- 1.04 【片山新田(手賀沼)】オジユン(3)
葦に止る 船津登
- 1.04 【片山新田(手賀沼)】ヒク付(1)
鳴き声 船津登
- 1.04 【戸張新田】ハイカ(1)
恰もハヤブサが鉄塔 95 へ戻って来たかに見えたがハイタカであった 吉田隆行
- 1.05 【酒井根 6 丁目下田の森】オカカ (1)
飛翔し移動 飯泉仁
- 1.05 【岡発戸】カシラガカ (約 50)
田から飛び木に止る 船津登
- 1.06 【酒井根 6 丁目下田の森】アトリ (3)
飛翔し移動 飯泉仁
- 1.07 【片山 (手賀の丘公園)】フクロウ(1)
木に止り休む 船津登
- 1.07 【片山 (手賀の丘公園)】キイタギ(3)
杉・松の木の中で動く 船津登
- 1.07 【片山 (手賀の丘公園)】ヤマガラ(2)
船津登
- 1.07 【戸張】ハブサ(1)
大津川脇鉄塔に止まり脱糞してすぐに飛び去った。 吉田隆行
- 1.08 【布佐平和台】カウトリ(1)
調整池の水溜で餌探し 鈴木静治
- 1.08 【手賀沼】ハジロカイツブリ(2) 上沼 2
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 1.08 【手賀沼】バン(3) 上沼 1 下沼 2
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 1.08 【手賀沼】ツルギ(1) 下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 1.08 【手賀沼】ミサゴ(2) 上沼 1 下沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 1.08 【手賀沼辺】オカカ(1) 上沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 1.08 【手賀沼辺】ハブサ(1) 上沼 1
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省
- 1.09 【江蔵地】カシラガカ(3)
川原の葦の茂みに入る 鈴木静治
- 1.09 【片山 (手賀の丘公園)】トラツグミ(1)
地上で採食 船津登
- 1.10 【千間橋】チョウゲンボウ(1)
田の杭に止まる 鈴木静治
- 1.10 【千間橋】ノリ(1)
電柱の中段に止まる 鈴木静治
- 1.10 【片山新田(手賀沼)】オカカ(1)
葦に止る 船津登
- 1.10 【戸張新田地先上沼】ク付(1)
葦原切込みを歩いていた 吉田隆行
- 1.10 【岡発戸新田】オジユン(7)
葦原の中を動く
鈴木静治・船津登・間野吉幸
・池田日出夫・蒲田知子・古出洋子
・嶋崎省・小林建吏朗
- 1.10 【岡発戸新田】ク付(1)
池岸の氷の上を歩く、そして滑る
鈴木静治・船津登・間野吉幸
・池田日出夫・蒲田知子・古出洋子
・嶋崎省・小林建吏朗
- 1.10 【岡発戸新田】ツグミ(13)
高木に止まる、飛ぶ
鈴木静治・船津登・間野吉幸
・池田日出夫・蒲田知子・古出洋子
・嶋崎省・小林建吏朗
- 1.12 【布佐平和台】カウトリ(1)
ヒビッと鳴き調整池に降り動き回る
鈴木静治
- 1.12 【片山新田(手賀沼)】ヒク付(1)
水辺を動く 船津登
- 1.12 【片山新田(手賀沼)】オカカ(1)
田で採食 船津登
- 1.14 【下沼田】チョウゲンボウ(1)
電線に止まり休んでいた
飯泉仁・飯泉久美子
- 1.14 【下沼田】ハイロチュウビ(1)
雄成鳥が飛翔 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.14 【片山新田先手賀沼】ヘニマシヨ(2)
葦原に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.14 【片山 (手賀の丘公園)】フクロウ(1)
木で休む 船津登
- 1.14 【片山 (手賀の丘公園)】モズ(1)
地上で採食 船津登
- 1.15 【北新田】クシギ(2)
水路 佐藤さなえ・畠中暁美他 8 名
- 1.15 【北新田】イシギ(2)
水路 佐藤さなえ・畠中暁美他 8 名
- 1.15 【北新田】イヒトリ(1)
水路 佐藤さなえ・畠中暁美他 8 名
- 1.15 【別所】オトリ (約 30)
池の岸で休む、泳ぐ

- 鈴木静治・桑森亮・嶋崎省・古出洋子
 1.15 【別所】カシダガカ (約 70)
 高木の頂に群れ止まる
 鈴木静治・桑森亮・嶋崎省・古出洋子
 1.18 【下沼田】チョウゲンボウ(1)
 強風の中、風に頭を向け、電柱に止まる
 鈴木静治
 1.18 【下沼田】ヒバリ(4)
 田より飛び立つ
 鈴木静治
 1.18 【浅間前】ノスリ(1)
 畦の杭に、風に頭を向け止まる
 鈴木静治
 1.18 【発作】トビ(3)
 川上空を鳴きながら飛ぶ
 鈴木静治
 1.19 【光ヶ丘廣池学園】アトリ(2)
 カエデの木に飛来
 飯泉仁
 1.20 【酒井根 6 丁目下田の森】ジョウビタキ(1)
 成鳥雌が枝に飛来
 飯泉仁
 1.20 【酒井根 6 丁目下田の森】ウグイス(1)
 笹鳴き
 飯泉仁

■今回寄せられた鳥の全種名■

アオサギ、アオジ、アカハラ、アジサシ、アトリ、アリスイ、イカルチドリ、イソシギ、イソヒヨドリ、ウグイス、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオハクチョウ、オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オジロビタキ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キクイタダキ、キジ、キジバト、キセキレイ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、クロハラアジサシ、ゴイサギ、コガモ、コクマルガラス、コゲラ、コサギ、コチドリ、コチョウゲンボウ、コハクチヨウ、コブハクチョウ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズガモ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツミ、ツルシギ、トビ、トラツグミ、ニシセグロカモメ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、

ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ビンズイ、フクロウ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホオジロガモ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ミミカイツブリ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ、ルリビタキ
 計 97 種
 <番外種>カワラバト、コジュケイ

■今回の投稿者の総投稿件数■

飯泉仁	366
飯泉仁・飯泉久美子	121
金子雅幸・船津登・桑森亮・嶋崎省	109
桑森亮	43
古出洋子	15
佐藤さなえ	5
佐藤さなえ・畠中暁美他 8 名	26
佐藤さなえ・畠中暁美他 9 名	25
鈴木静治	232
鈴木静治・桑森亮・嶋崎省・古出洋子	14
鈴木静治・船津登・蒲田知子・千葉洋 ・相馬唐代子	26
鈴木静治・間野吉幸・池田日出夫 ・蒲田知子・古出洋子・嶋崎省 ・小林建吏朗	27
田中功	2
新堀正則	1
船津登	152
松本勝英	13
百瀬喬	4
吉田隆行	29
総計	1,210

(弘實和昭)

【会員だより】(ab-yacho より)

【タゲリの初認】

2018.12.21 桑森亮

11月21日にタゲリを観察しました。私は初認でしたが、他の皆さんは如何でしょうか。もっと寒くなってカモが増えると良いのですが、今年の冬はどうでしょうか？

【手賀沼曙橋上空にゴイサギの群れ】

2018.12.22 松本勝英

本日昼前、所用で曙橋に立ち寄りましたら、ゴイサギの群れ(30+)が上空を旋回していました。間もなく、いつもカワウが占拠している杭に舞い降りてくれました。よく見ると、約半分は若鳥(ホシゴイ)の様でした。

【手賀沼周辺では初記録、オジロビタキ】

2018.12.23 百瀬喬

12月16日(13時台) あげぼの山公園・桜山にて観察、撮影。

第1発見者は飯島榮さん、10日ほど前と本人から聞きました。

翌17日も確認しましたが、その翌日朝には埒だったかもしれない木の根元で死んでいると、飯島さんより電話がありました。死体は池田日出男さんが鳥博に届けてくれました。

【中峠にツミ飛来】

2018.12.23 松本勝英

本日13時半ごろ、買い物から帰宅したところ、自宅前の林の枯杉にツミ♂が止まっています。周辺を気にしたり、羽繕いしていましたが、やがて、西方向へ飛去しました。曇天でしたが腹部の橙色がきれいでした。

【鳥だより】

2018.12.24 神部充

今日は、長野県茅野市の一本松公園に探鳥に行ってきました。

林道を歩いていると、突然、スズメが数羽飛び立ち、その後、数メートル先の小枝にミヤマホオジロ♂が現れました。今季、初の出会いに感謝です!!

この他、シメ、ベニマシコ♂、ツグミ、マヒワ、カワラヒワ、モズ、シジュウカラ、アカゲラ、コゲラ、カシラダカなどにも会うことができました。

多分、今年の鳥納めになるであろう探鳥としては、鳥果豊富でしたよ♪♪

【中峠にアカハラ飛来】

2018.12.31 松本勝英

今夕4時ごろ、近くの林の樹上でアカハラとツグミが至近距離に並んで止まっています。夕陽に映えて、どちらも鮮やかな、「ツーショット」でした。正面から暫く見惚れました。午前の散歩で、同じ草原でキセキレイとセグロ、ハクセキレイを見たので何か今日は良いことがある予感がしていました。至福の大晦日になりました。

【初日の出&鳥だより】

2019.1.1 桑森亮

皆さん、明けましておめでとうございます、桑森です。

手賀沼の初日を見て、手賀沼遊歩道から岡発戸谷津を初ウォーキング、初ウォッチングをしてきました。今年の初見の鳥は桃山公園のカワセミ、初撮りは遊歩道のホオジロでした。岡発戸谷津ではカシラダカ20羽、ベニマシコ2羽、ルリビタキ1羽、ビンズイ2羽などが見れました。カシラダカは谷津ではまだ見られるようです。

今年はシメが多い様で、ツグミも寒くなって増えてきたようです。

今年も皆さんとともに良い鳥見ができるよう願っています。

【Re 初日の出&鳥だより】

2019.1.2 百瀬喬

明けましておめでとうございます

会の発展と皆様のご多幸をお祈りして手賀沼での平成最後の初日の出（2019.01.01 (am.07:01)と、その後ハスの群生地に移動して撮影したハクチョウたちの写真をお届けします。7時半を過ぎていたので、12羽のオオハクチョウの姿がなく、到着したときは寝ているハクチョウたちを見てコブハクチョウだけと思ったのですが目覚めた白鳥たちを撮影し始めたら中にオオハクチョウが1羽と、何と今シーズン初見のコハクチョウ2羽が混じっていました。

【岡谷市の「イスカ」の状況について】

2019.1.3 神部充

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、本日、長野県岡谷市に「イスカ」の状況を観に行ってきました。

今年は、群れが小さく全部で5羽のイスカを確認することができました。これから、もっと入ってくることを期待したいです。

例年いるはずのオオマシコがまだ入っておらず、その代りにベニマシコが散見されました。

その他、ホオジロ、アトリ、コガラなどに会うことができました。

もし、行かれる場合、凍ってますので車は冬用タイヤをお願いします。

【手賀の丘公園のルリビタキ】

2019.1.7 新堀正則

今年もよろしくお祈りいたします。

さて、手賀の丘公園のどんぐりの家付近で12/31にルリビタキを見つけました。

肩羽が少し青味がかかっているのが若オスかなと思いますがこの程度の青味ではオスとは言い切れないのかなとも思います。ご教授頂ければありがたいです。

【マガンの識別について】

2019.1.8 平岡考

山階鳥研の平岡です。あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。年末のマガンの画像についてのやりとり、興味深く拝見していました。

新年早々、うるさい話で申しわけないですが、識別に疑問を持たれたら、まず第一にお手元の図鑑を見る習慣を付けていただければと思います。マガンの若い鳥の額に白い羽毛がないことは、ちゃんとした図鑑であればきちんと図示されていることと思います。

せつかく図鑑を見られたら他に着目点がないか見ていただければと思いますが、マガンの若い鳥の体の下面には成鳥にあるくっきりした黒い横斑がありません。

マガンの群れが頭上を通過するとき、肉眼で見ても、この点を知っていればどれが若いか成鳥かがわかるわけです。こんど気にしてご覧になってみてください。

会からのお知らせ

<柏市民活動フェスタへのご協力のお祈り>

当会には柏支部があり、柏市の登録市民団体となっています。今年も5月第2日曜日に「柏市民活動フェスタ2019」が、柏駅周辺各所で開催され、当会も活動内容の紹介および会員募集活動の一環として参加いたします。（詳細は次号）

つきましては、半日・数時間でもかまいませんので会員の皆様にスタッフとしてのご協力をお願いします。お問合わせは、担当の千葉洋（090-2434-4937）まで。

<新入会員紹介>

小林建吏朗（取手市在住）

<年会費納入のお願い>

平成 31 年度の会費納入の時期が来ました。会報に郵便局の振込用紙を同封しましたので、4 月 14 日までに払い込みをお願いします。なお、例会(3/10、4/14)、総会(4/14)等で会計に直接お支払頂く場合は振込用紙を破棄してください。

年会費 2,000 円 (大学・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員無料)

<年間行事追加訂正>

前会報 266 号に掲載した役員会報告のうち、「2019 年度上期行事計画」について、次の行事が脱落していましたので、追加掲載します。申し訳ありませんでした。

月	実施日(曜日)	行事内容	担当
9	20(金)~21(土)	白樺峠タカの渡り探鳥会	野口(隆)、高波

訃報

当会会員 OB の猪爪敏夫さんが昨年 12 月 20 日にご逝去されました。(享年 83 歳) 猪爪さんは長年当会の役員を務められ、探鳥会の指導や会報編集など、多方面の会務に携わられました。特に、JBF の当初から船上バードウォッチングの運営を担当され、その礎を築かれました。遠出探鳥会でも井頭公園探鳥会の幹事を長年担当されました。野鳥が大好きで、心優しい先輩でした。これまでのご尽力に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心よりお祈りし、ここに謹んでお知らせいたします。

訃報

当会会員の小澤淳宏さんが 2 月 7 日にご逝去されました。(享年 71 歳) 小澤さんは、2012 年に当会に入会、翌 2013 年に幹事就任とともに遠出探鳥会、定例探鳥会の担当を率先して務められ、特に年末の統一クリーンデイでは当会を代表して参加されました。自然を愛し、希少生物の保護活動などにも積極的に活躍されるなど、聡明で温和なお人柄は誰からも好かれる方でした。小澤さん、安らかにお休みください。故人のご冥福を衷心よりお祈りし、ここに謹んでお知らせいたします。

ほーほーどり No. 267 (2019 年 3~4 月号)

発行 2019 年 3 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel : 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円 (大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)